

2020(令和2年)年度 事業報告

特定非営利活動法人 杉並いずみ

第一・第一(堀ノ内)・第二(方南)

特定非営利活動法人杉並いずみ 法人スローガン

- ・自信を持って暮らし、自分自身を価値ある大切な存在だと感じていけるよう、一人ひとりのありのままを大切にします。
- ・毎日の作業の中にあるどんな小さなことも、自分でできることは自分で、を大切にします。
- ・やってみたいという気持ち、チャレンジすること、を大切にします。

1. 全体状況

運営面で理事長、施設長のもと運営・経営を行い、各所に主任を配置、各職員への指示をすることで運営方針・事業計画がより明確になり、事業所間の機能が前年度より少しずつではありますが安定していきました。令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策に迫られる1年でした。法人内の感染状況は4月1日現在インフルエンザを含め感染された方(職員含む)は発生しておりません。ひとえに通所されている皆様と保護者の皆様がしっかりと対応されていることの結果だと感謝しております。新型コロナウイルス感染拡大防止の対策として事業所においても、

- ・マスク装着の徹底
- ・通所時の手の消毒の徹底
- ・空気清浄機の設置
- ・1日2回の検温
- ・テーブルにパーテーション設置
- ・ご連絡がない方の訪問についての規制
- ・37度以上体温がある方の自宅待機等の対策(職員も含め)を実施してまいりました。

最初の緊急事態宣言時は利用者全員を対象とした時短開所を実施いたしました。

4/13～宣言解除の期間について、通所日を月曜日から木曜日9:00～13:30、金曜日は在宅支援としました。常勤職員は8:00～17:00の勤務、非常勤職員は金曜日にテレワークを実施、感染防止策を実施いたしました。2回目の緊急事態宣言時は、12/21～宣言解除の期間中公共の交通機関を利用している方については、14:30に退所、徒歩・送迎車利用の方は通常通りの退所をお願いいたしました。公共機関を利用の常勤職員は8:00～17:00の勤務で感染防止に努めました。

今年度の行事（いずみ連絡会含む）については集団感染しないことを基本として中止としました。感染リスクを極力回避しできる限り多くの時間、開所できることが一番と考え事業運営を行ってきた1年でした。皆様には我慢をして頂くことが多く、法人としても心苦しい限りでした。その中でも、内科健診、耳鼻科検診、歯科検診、インフルエンザ予防接種は希望された方に事業所内で実施いたしました。眼科検診と障害者施設健診につきましては施設外での実施となりましたので安全を考慮して中止となりました。

余暇活動につきまして、各施設内で感染対策を講じながら、カラオケ大会、ゲーム大会、映画鑑賞など自粛規制が多い中で少しでも息抜きが出来るように企画を組み実施いたしました。その日々の様子が月ごとに感じていただける方法として、各所でそれぞれ「いずみ通信」「ほうなん通信」「ほりのうち通信」としていつもの「なかよし」と合わせて配布させていただきました。こちらは今後も継続していきます。

自主製品の販売においてもイベントがほぼ中止となり工賃売り上げの減少も見込まれましたが、第二では事業所にある生地を利用して3月下旬よりマスクを作製、店頭で販売をしたところ好評得て、売り上げ増につながりました。また9月よりオンラインショップを立ち上げ少しずつですが、売り上げも伸びてきました。受注作業についても最初の緊急事態宣言下の4・5月は仕事量もいつもの70%まで落ち込みましたが、その中でも通販サイト関係の新規作業依頼があり現在は通年と変わらない状況となりました。

利用者様の通所状況について、新規利用の方は、4月には就職されていた方が退職に伴い1名入所されました。退職された方について、8月に第一堀ノ内を利用されていた独居の方が、お亡くなりになりました。また第一いずみを利用されていた方がご家庭の事情により1名の方が8月に入所施設に移られました。第二方南について、杉並区外から通所されていた方が出勤することが難しくなり12月に退所されました。亡くなられた方のご冥福をお祈りするとともに、退所された方には新しい道で頑張っていただけをお願いしております。

また年間を通じで新型コロナウイルス感染拡大が継続している中で、自粛される利用される方は現在も数名おり全体の収益に影響がありました。また利用される方の高齢化に伴う通勤日数の調整等、また介護保険施設との併用による利用日数の減少なども含めると国保連収入が大幅に減収となりました。（決算参照）

通年行っていたことができない1年でしたが、皆様が変わりなく通所をしていただくことに感謝する次第でした。

2. 本年度の重点目標に対する結果

(1) 利用者支援

年2回の個別面談と三者面談に加え、6か月ごとのモニタリングを行うことで個別支援計画の進捗状況を確認し、利用者からその都度希望を聴いて計画に反映し支援を行いました。三者面談においては可能な限り相談支援事業所の担当者も同席いただき、四者面談のような形を取りました。面談時就労希望について確認しましたが、直近での就職の希望がなかったため、職場見学や実習等は行いませんでした。

(2) 施設機能の充実

利用者の休憩所の設置までには至りませんでした。

(3) 関係機関との連携

仕事ねっと会議、杉並区ネットワーク会議に参加することで杉並区内の作業支援・就労支援の情報を得て新たな販売先の開拓を行いました。杉並区内施設長会、障害の枠を超えた施設による会合などはコロナ禍の影響もあり限られましたが、入所調整会議、等に参加することで区内施設とのネットワークを構築しました。また、近隣の他法人が運営する「マングローブ」喫茶店に自主製品のせんべいをおかせていただくことになりました。また世田谷区砧工房分場キタミ・クリーンファームよりサラダ菜等の野菜を買い取り、毎週販売をいたしました。

(4) 地域との連携

新型コロナウイルス感染拡大の為、行えませんでした。

(5) 人材育成

職員個別の研修計画「業務目標・成果シート」を作成し、年2回職員と施設長との個別面談においてその進捗状況を確認しました。シート作成により個人の業務目標が明確になり、育成の手助けになりました。

3. 事業概要

(1) 設置の目的

就労継続支援B型事業

利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、就労の機会を提供するとともに、生産活動その他活動の機会の提供を通じて、その知識及び能力の向上のために必要な訓練その他の便宜を適切かつ効果的に行います。

(2) 名称及び所在地等

①名 称：杉並いずみ第一（和泉）

所在地：東京都杉並区和泉4-4-4

電 話：03-5377-2121

E-mail：suginami-izumil@fuga.ocn.ne.jp

②名 称：杉並いずみ第一（堀ノ内）

所在地：東京都杉並区堀ノ内3-9-11

電 話：03-3317-0831

E-mail：izumi-2@herb.ocn.ne.jp

③名 称：杉並いずみ第二（方南）

所在地：東京都杉並区方南1-52-20

電 話：03-3321-4485

E-mail：tetote@chime.ocn.ne.jp

(3) 設立

① 開 設 昭和52年3月

② 事業種別 障害福祉サービス事業（就労継続支援B型事業）

(4) 施設の規模

①杉並いずみ第一（和泉）

敷地面積 291,61 m² 建物延べ面積 334,75 m²

建築面積 168,75 m² 竣工 昭和63年10月

②杉並いずみ第一（堀ノ内）

面積 162,85 m²

③ 杉並いずみ第二（方南）

面積 245,66 m²

(5) 職員構成

① 職員構成 (令和3年3月31日現在)

常勤13名 非常勤20名 計33名

職 種	和泉	堀ノ内	方南
管理者 (施設長)	1 (兼務)		
サービス管理者	1	1	1 (兼務)
主任支援員			1
常勤支援員	3	1	1
目標工賃達成指導員	1	1	1
非常勤支援員	6	3	5
事務局事務員	2 (兼務)		
事務局添乗員	3 (兼務)		

②職員人事

年 月 日	氏 名	職 種	事由	備 考
R2. 4. 1	梅田 良子	第一常勤支援員	採用	
R2. 4. 1	内山 眞律子	第二常勤支援員	採用	
R2. 8. 1	清田 祐華	第一常勤支援員	採用	
R3. 3. 31			退職	
R3. 2. 1	山田 美友紀	第一常勤支援員	採用	
R3. 3. 31	畠山 睦子	第一非常勤支援員	退職	定年
R3. 3. 31	吉岡 初美	第二非常勤支援員	退職	
R3. 3. 31	工藤 恵美	第二非常勤支援員	退職	

(6) 利用者状況 (令和3年3月31日現在)

① 利用対象者

ア. 利用対象者

【就労継続支援B型事業】

- ・ 区内在住の、主に知的障害者のうち、一般企業等での就労が困難な人に働く場を提供するとともに、就労移行支援事業等を利用したが一般企業等の雇用に結びつかない方や、一定年齢 (50 歳) に達している方であって就労の機会等を通じ、生産活動にかかる知識・能力の向上や維持が期待される方。

イ. 定員 80名

ウ. 現員 65名

② 性別・年齢別構成

【就労継続支援B型事業】

平均年齢：(男性) 46.9歳 (女性) 46.3歳 (全体) 46.7歳

	19以下	20～29	30～39	40～49	50～59	60～	合計
男性	0	12	3	4	11	12	42
女性	0	1	7	6	5	4	23
合計	0	13	10	10	16	16	65

③ 障害程度

愛 身障	なし	1級	2級	3級	4級	5級	合計
	2度	15	1	0	0	0	0
3度	23	1	0	1	1	1	27
4度	21	0	0	0	0	1	22
合計	59	2	0	1	1	2	65

④ 障害支援(程度)区分

区分	6	5	4	3	2	1	非該当	未認定	合計
第一	1	12	7	14	6	2	6	0	48
第二	0	2	4	4	4	0	3	0	17
合計	1	14	11	18	10	2	9	0	65

⑤ 入所前の状況

	特別支援 学校他	通所施設・ 入所施設	普通高校 ・大学	就労	在宅	合計
第一	21	8	0	17	2	48
第二	10	4	1	2	0	17
合計	31	12	1	19	2	65

⑥ 入退所等状況表

【第一】

月	定員数	入所 人数	退所 人数	月末 在籍数	開所日	出席 延人数	欠席 延数	出席 率	利用率
4	60	1	0	50	21	655	395	62%	52%
5	60	0	0	50	18	354	546	39%	33%
6	60	0	0	50	22	918	182	83%	70%
7	60	0	0	50	21	900	150	86%	71%
8	60	0	2	48	17	716	100	88%	70%
9	60	0	0	48	20	813	147	85%	68%
10	60	0	0	48	21	903	105	90%	72%
11	60	0	0	48	19	812	100	89%	71%
12	60	0	0	48	20	836	124	87%	70%
1	60	0	0	48	19	797	115	87%	70%
2	60	0	0	48	18	762	102	88%	71%
3	60	0	0	48	23	968	136	88%	70%
合計	—	1	2	—	239	9,434	2,202	81%	66%

【第二】

月	定員数	入所 人数	退所 人数	月末 在籍数	開所日	出席 延人数	欠席 延人数	出席率	利用率
4	20	0	0	18	21	195	138	52%	46%
5	20	0	0	18	18	132	192	41%	37%
6	20	0	0	18	22	330	66	83%	75%
7	20	0	0	18	21	336	42	89%	80%
8	20	0	0	18	17	274	32	90%	81%
9	20	0	0	18	20	311	49	86%	78%
10	20	1	0	18	21	314	64	83%	75%
11	20	0	0	18	19	273	69	80%	72%
12	20	0	1	18	20	286	74	79%	72%
1	20	0	0	17	19	268	55	83%	71%
2	20	0	0	17	18	264	42	86%	73%
3	20	0	0	17	23	338	53	86%	73%
合計	—	0	1	—	239	3,321	921	78%	69%

⑦ 通所手段

方法	徒歩	路線バス	電車	バス 電車	送迎車	送迎車 路線バス	マイカー	合計
第一第二	22	17	5	7	13	1	1	65

⑧ 相談支援事業所

事業所名	第一	第二	合計
杉並障害者自立生活支援センターすだち	11	3	14
あおいサポートステーション	3	4	7
すぎなみ障害者生活支援コーディネートセンター（すぎコ）	2	2	4
株式会社 よりみち	4	1	5
相談支援事業所 HUG はぐ	5	0	5
障がい者ケアマネジメント友愛	1	0	1
済美福祉相談室	4	0	4
いたる相談室	3	1	4
ヘルプメイト関町相談支援部	0	3	3
キラキラステーション	4	1	5
ゆうケアセンター	2	0	2
相談支援事業所 かすみ草	2	0	2
相談支援事業所 リリーフ	0	1	1
Team shien m.a	0	1	1
相談支援事業所 庵	2	0	2
永福南社会福祉ガーデン	2	0	2
練馬区立大泉地域生活支援センター さくら	1	0	1
ブース記念ケアマネジメントセンター和田(居宅介護)	1	0	1
未定（セルフ）	1	0	1
合計	48	17	65

⑨ 退所理由

	一般 就労	保護的 就労	区外 転居	結婚	入院	通所施 設移動	入所施 設移動	在宅	死亡	合計
第一第二	0	0	0	0	0	0	1	1	1	3

⑩ 生活の場(GHのカッコ内は単身)

	家庭	GH	単身	合計
第一第二	36	27(8)	2	65

⑪ ぜんち共済加入状況 (平成 31 年 3 月 31 日現在)

加入者 97 名 (施設負担)

4. 事業実績

(1) 活動プログラム

公園清掃やリズム体操は年間のスケジュール通り行いました。1日クラブの行先については、利用者の希望を取り各所2回ずつ行ないました。ウォーキングについては、作業の進捗状況を見ながら行いました。

項目	施設名	実施月・場所	回数・参加人数
公園清掃	第一和泉	べんてん橋・和泉二丁目公園	104回
	第一堀ノ内	堀ノ内東公園	104回
	第二方南	上水橋・弁天橋東・泉南 ・方南緑地 (2月より委託)	104回
リズム体操 (講師招聘)	第一和泉	新型コロナウイルス 感染拡大の為中止	0回
	第一堀ノ内		0回
	第二方南		0回
一日クラブ	第一和泉	12月カラオケ・ゲーム	42名
		3月カラオケ・ゲーム	43名
	第一堀ノ内	2月カラオケ・ゲーム	20名
	第二方南	1月カラオケ・ゲーム	21名

週間プログラム（10:30～と 14:30～それぞれ 10 分間の休憩）

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
8:50	体操 朝礼 (ウォーキング) 公園清掃 作業	体操 朝礼 (ウォーキング) 作業	体操 朝礼 (ウォーキング) 作業	体操 朝礼 (ウォーキング) 公園清掃 作業	体操 朝礼 (ウォーキング) 作業
12:00 ~ 13:00	昼食 休憩	昼食 休憩	昼食 休憩	昼食 休憩	昼食 休憩
13:00～	作業	作業	作業	作業	作業
15:50～	清掃 更衣 終礼	清掃 更衣 終礼	清掃 更衣 終礼	清掃 更衣 終礼	清掃 更衣 終礼
16:00	帰宅	帰宅	帰宅	帰宅	帰宅

(2) 行事

新型コロナウイルス感染症拡大の為、全体で集合する行事の開催は実施されませんでした。

項目	施設名	実施月・場所	参加人数
歓迎会（入所式）	3所	新型コロナウイルス 感染拡大の為中止	名
宿泊旅行	第一和泉		名
	第一堀ノ内		名
	第二方南		名
いずみまつり	3所		名
新年・新成人を祝う会	第一和泉	自施設	43名
	第一堀ノ内	自施設	17名
	第二方南	自施設	21名

(3) 就労支援の取り組み

本年度の三者面談や個別面談により就労希望者を確認したところ、積極的な希望者がいなかったため実施には至りませんでした。

(4) 工賃アップの取り組み

新型コロナウイルスの影響が大きく特に自主製品の売り上げが大きく減りました。今後も数年続くと考えられることを鑑みて、ネットショップを立ち上げまだ知名度は低いですが、少しずつ売り上げも増えてきました。またせんべいも味・生地を見直し特にケイジャン味を新作として販売したところ好評を得ました。(以下に販売、工賃を記載)

【第一和泉】

自主生産作業：せんべい、アクセサリー（ピアス等）

受託作業：児童向け雑誌の付録袋入れ、タオル折りと袋入れ、各種DM封入、等

清掃作業：べんてん橋公園、和泉二丁目公園清掃（杉並区より受託）

【第一堀ノ内】

自主生産作業：ビーズアクセサリー

受託作業：児童向け雑誌の付録袋入れ、タオル折りと袋入れ、各種DM封入等

清掃作業：堀ノ内東公園（杉並区より受託）DMポスティング作業

【第二方南】

自主生産作業：手織り、手染め、フェルトボール作り等

受託作業：タオル折りと袋入れ、DM封入・発送等

清掃作業：上水橋公園、弁天橋東公園、泉南公園（杉並区より受託）

【生産・販売全体状況】

① 施設外販売

日時	施設名	内容	売上
		新型コロナウイルス感染拡大の為、中止	
合計			円

【工 賃】

【第一】（利用実績がない方がいる場合0）

月	定員	月末 現員	給与 払数	工 賃			
				総額	平均額	最高額	最低額
4	60	50	46	263,060	5,719	21,990	0
5	60	50	35	201,620	5,761	21,630	0
6	60	50	47	221,840	4,720	17,820	0
7	60	50	47	303,810	6,464	24,030	0
8	60	48	47	250,620	5,332	17,550	0
9	60	48	48	815,250	16,984	49,570	1000
10	60	48	48	274,090	5,710	19,120	620
11	60	48	48	376,180	7,837	22,580	170
12	60	48	47	413,840	8,805	29,560	0
1	60	48	47	383,050	8,150	27,640	0
2	60	48	46	292,610	6,361	19,620	0
3	60	48	48	1,560,340	32,507	85,710	2,000
合計			554	5,356,310	9,668		

【第二】（利用実績がない方がいる場合0）

月	定員	月末 現員	給与 払数	工 賃			
				総額	平均額	最高額	最低額
4	20	18	17	114,430	6,731	22,740	470
5	20	18	14	70,590	5,042	15,040	1,170
6	20	18	17	160,980	9,469	24,770	1,060
7	20	18	17	175,360	10,315	26,160	1,390
8	20	18	17	170,460	10,027	25,620	1,130
9	20	18	17	347,280	20,428	56,410	0
10	20	18	16	156,570	9,786	23,940	0
11	20	18	16	169,530	10,596	28,200	0
12	20	18	16	183,190	11,449	28,640	0
1	20	17	16	177,280	11,080	35,080	0
2	20	17	16	229,550	14,347	36,390	0
3	20	17	17	1,007,320	59,254	144,400	10,000
合計			196	2,962,540	15,115		

5. 権利擁護

(1) 事業所としての取り組み

年度初めの職員会議にて「職員倫理規定」および「杉並いずみサービスガイドライン」の読み合わせを行いました。また3ヶ月に一度職員会議の冒頭において、職員全員に「虐待防止セルフチェックリスト」の記入を行ってもらい、終了後に施設長より一つ一つ解説を行いました。利用者や職員の孤立を防ぐために、非常勤職員を多く採用し、基準以上の職員配置を行うことで死角を作らない体制を作りました。今年度虐待事案は発生しませんでした。虐待防止や事故防止のための更なる強化のために支援体制を毎月の支援員会議にて話し合いました。また、権利擁護・虐待防止の外部研修に2回参加し、研修報告を職員会議内で行いました。

(2) 虐待防止委員会

- ① 今年度は2回実施しました。法人が定めた「虐待防止要綱」の内容を委員で確認し、以下の内容を実施しました。
- ② 職員チェックリストの実施（年1回）
- ③ ケース会議を実施。（毎月各所）
- ④ ヒヤリハットの分析としてリスクマネジメント委員会を実施（運営会議内）
（虐待防止責任者）

氏名	職種
関口 賢治	施設長

(虐待防止委員会)

役割	氏名	職種
委員長	関口 賢治	施設長
委員	大内 留美子	主任支援員
委員	大久保 江理子	主任支援員
委員	齋藤 朋子	主任支援員
委員	辻村 佳子	事務員

(3) 苦情解決

利用者からの苦情解決実施要項により苦情解決責任者・苦情解決受付担当者を配置すると共に、職員会議にて確認し、職員の共通認識としました。また苦情の受付窓口について下記の内容を保護者に配布し、施設内にも掲示しました。また利用者には苦情解決第三者委員による施設の利用についての聞き取りを行い、保護者には苦情解決のしくみを理解してもらうために保護者会において説明しました。また、苦情・相談等受付書等を整備することで記録として残しました。

① 苦情解決体制

ア

役 割	氏 名	職 種
苦情解決責任者	関口 賢治	施設長
苦情受付担当者（第一）	大久保 江理子	主任支援員
苦情受付担当者（事務）	辻村 佳子	事務員
苦情受付担当者（堀ノ内）	大内 留美子	主任支援員
苦情受付担当者（第二）	齋藤 朋子	主任支援員

イ. 杉並区関係相談・苦情窓口

杉並区保健福祉サービス苦情調整委員（連絡先）03-3312-2111(代表)

ウ. その他

苦情解決第三者委員 山本 松江 （連絡先）03-3315-7059

東京都知的障害者育成会苦情受付窓口（連絡先）03-5389-2600

東京都社会福祉協議会 福祉サービス運営適正化委員会事務局

（連絡先）03-5238-7020

② 令和1年度苦情受付状況

特にありませんでした。

③ 苦情解決第三者委員 山本 松江さん訪問日時等

※利用者で65歳を超える方のみ三者面談の立ち会いを依頼しましたが
新型コロナウイルス感染症拡大の為、立会いませんでした。

6. 医務

(1) 健康管理

内科、耳鼻科、歯科は医師が来所し実施、眼科は新型コロナウイルス感染症拡大の為中止となりました。結果については個別に配布し対応しました。また、月初めには体重測定を行いました。

科目	実施月	実施機関	参加者
内科健診	8月	いりたに内科クリニック	44名
耳鼻科検診	10月	白い鳥医院	58名
歯科検診	2月	お口の介護相談室	46名
眼科検診	中止		名
施設健診	中止		名
予防接種 (職員含む)	10月	いりたに内科クリニック	67名

(2) 感染予防・対応

今年度については、施設内のノロウイルス感染は発生しませんでした。

また新型コロナウイルス感染症及びインフルエンザ流行時において、職員・利用者から感染者はありませんでした。

- ① 施設内の清掃を1日1回行いました。
- ② 石鹸、液体石鹸を常備し、職員・利用者到手洗いとうがいを徹底しました。
- ③ インフルエンザ予防接種を希望者に行いました。

7. 危機管理

(1) 事故防止・ヒヤリハット

毎日職員終礼時にヒヤリハット、事故報告をあげてもらいその日のうちに状況と対応を職員間で共有しました。また毎月の職員会議では3所の事故報告を行うと共に、6カ月毎の事故報告書を作成し、集計分析し傾向と対応方法を確認しました。今年度も施設において各種保険（施設賠償保険、傷害保険）に加入して万が一に備えました。

	自傷	他害	転倒	バス内 他害	行方不 明	その他	ヒヤリ ハット	合計
第一	0	14	8	1	0	17	14	54
第二	0	1	0	0	0	2	1	4
合計	1	15	8	1	0	19	15	58

(2) 緊急時対応等

今年度は緊急な対応を行うことはありませんでしたが、緊急時の対応や連絡等について、主任会議内で確認しました。

(3) 情報漏えい対策

利用者、家族、職員の個人情報は施設内で一括管理しました。また広報誌用写真、ビデオ撮影などにおいては、あらかじめ書面で利用者・保護者から承諾を得た方のみ掲載・撮影しました。

(4) 特定個人情報管理

個人情報（マイナンバー）利用開始に伴い、事業所における取扱者を選任し、安全管理の再点検、個人番号運用方法を確認の上、従業員等から適切な番号収集を行いました。

職 名	氏 名
取扱管理責任者（法人）	理事長 宮崎 幸雄
取扱責任者	施設長 関口 賢治
取扱担当者	事務 辻村 佳子
取扱担当者	社労士 森田 涼子

8. 防災

(1) 自衛消防体制

消防計画における自衛消防体制の組織を確認し、職員にも役割を掲示し周知しました。また、消防用設備点検を外部のメンテナンス・サービスに依頼しました。

(2) 避難訓練

【第一和泉】

訓練名	指導者	実施日
避難訓練	防火管理者	7月29日、1月25日、2月17日

【第一堀ノ内】

訓練名	指導者	実施日
避難訓練	防火管理者	7月28日、3月31日

【第二方南】

訓練名	指導者	実施日
避難訓練	防火管理者	8月6日

(3) 大規模地震・災害対策

- ① 防災備蓄用品の食料品の賞味期限を確認し、備品の点検、整理をしました。

9. 家族（保護者）との連携

(1) 保護者連絡会

- ① 令和2年度の保護者会については、新型コロナウイルス感染症拡大の為、ご家族の健康に配慮し実施いたしませんでした。
- ③ 3月に「施設満足度アンケート」を実施しました。集計結果は令和3年4月の職員会議、4月のいずみ連絡会にて書面で配布し説明しました。

10. 地域との連携

(1) 地域交流

新型コロナウイルス感染症拡大の為、行えませんでした。

(2) 地域関係団体・事業所との連携

① 地域事業者との連携

- ア. 杉並区「しごとねっと」や「就労支援ネットワーク会議」、「地域法人連絡会」等には新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、定期的に参加し情報の共有を行いました。また、区内の就労移行施設の見学、情報交換を行いました。
- イ. 相談支援事業者とは、定期的な電話連絡の他に必要に応じて施設内にてケース会議や個別面談、入院先でのケア会議など関わりを持つことが出来ました。

② 特別支援学校、地元中学校との連携

年間で17名の実習生を受け入れました。その内2名の来年度入所が決まりました。地元中学校からの実習生を2名受け入れました。

③ グループホームとの連携

現在利用者27名がグループホームを利用中です。日々連絡帳にて情報交換を行いました。東京都手をつなぐ育成会のグループホーム担当の支援ワーカーとも定期的なケース会議を行い、情報交換を行いました。三者面談時には、グループホームの世話人にも参加してもらいました。

④ 東京都手をつなぐ育成会との連携

グループホームにおける支援ワーカーとの連携、都育成会地域法人連絡会

主催のオンライン研修会に参加、地域法人連絡会所属施設長とのオンライン幹事会、新型コロナウイルス感染症拡大の中、非接触型ですが数多くの連携を行いました。

⑤ その他

- ・「東京ビジョンアイクリニック阿佐ヶ谷」という眼科医院の待合室壁面に利用されている方の芸術作品を展示させていただけることになりました。

(3) 実習等受け入れ状況

① ボランティア受け入れ状況

(新型コロナウイルス感染拡大のため受け入れはありませんでした)

② 見学者受け入れ状況

第一	第二	合計
8名	2名	10名

④ 研修・実習受け入れ状況

	第一	第二	合計
特別支援学校実習生	4名	2名	6名
特別支援学校ミニ実習	4名	0名	4名
中学生実習	3名	0名	3名
在宅者他	4名	0名	4名
合 計	15名	2名	17名

11. 会議・委員会

(1) 会議

会議名	回数	会議名	回数
職員会議(臨時含む)	12回	主任会議(臨時含む)	48回
第一和泉支援員会議	12回	第一堀ノ内支援員会議	12回
第二方南支援員会議	12回	工賃評定会議	2回
保護者連絡会	0回	研修報告(職員会議内)	12回
事故報告(職員会議内)	12回		

(2) 委員会

会議名	回数	会議名	回数
広報委員会	3回	虐待防止委員会	1回

(3) 地域との連携

会議名	回数	会議名	回数
すぎなみ仕事ねっと定例会・役員会(杉並区主催)	24回	杉並区障害者雇用支援ネットワーク会議(杉並区主催)	12回
東京都手をつなぐ育成会 地域法人協議会研修委員会	7回		

12. 研修計画

(1) 研修実績

① 所外研修

実施日	研修内容	主催者	人数
4月23日	緊急開催！新型コロナに立ち向かう事業所運営のポイント	東京都手をつなぐ育成会 (オンライン研修)	1名
4月24日	新人研修	杉並いずみ	2名
7月28日	第1回高齢者・障害者の権利擁護	杉並区保健福祉部	1名
8月3日	第2回高齢者・障害者の虐待防止	杉並区保健福祉部	1名
10月1日	東京都障害者虐待防止・権利擁護研修(管理者コース)	東京都福祉保健局	1名
10月2日	東京都障害者虐待防止・権利擁護研修(従事者コース)	東京都福祉保健局	1名
10月13日	施設間体験研修(tori dori)	杉並区保健福祉部	1名
10月21日	国立のぞみ園オンライン研修	国立のぞみ園	3名
10月28日	障害分野・高齢分野の推進連携セミナー(オンライン)	杉並区保健福祉部	3名
12月4日	施設間体験研修(阿佐ヶ谷福祉工房)	杉並区保健福祉部	1名
1月6日	サービス管理者更新研修(オンライン)	東京都福祉保健局	2名
1月27日	サービス管理者更新研修(実習)	東京都福祉保健局	1名
1月29日	サービス管理者更新研修(実習)	東京都福祉保健局	1名
2月19日	地域法人協議会実践発表	地域法人協議会	2名
2月27日	令和2年度全国手をつなぐ育成会連合会事業所協議会全国研修大会・大阪市大会(オンライン研修)	全国手をつなぐ育成会連合会	4名
3月18日	kurumiru 出品事業所業務説明会	東京都福祉保健局	1名
合計			26名

② 所内研修

実施日	研修内容	講師等	人数
各所月1回	サポーターズカレッジ研修	インターネット講義	30名

(2) 職員育成

人材育成については、個別面談をもとに研修希望を募りました。研修の実施については必ずしも希望の研修に参加できるに至ってはいませんが、毎月の職員会議を研修報告にあて、研修内容を日常の支援フィードバックする機会を設けました。所内研修においては新人職員が多いため基本的な内容を行いました。

1 3. 労務管理

(1) 職員健康管理

- ① 全職員を対象に生活習慣病予防健診、若年層健診を実施。
- ② 全職員を対象にインフルエンザ予防接種を実施。

(2) セクシャルハラスメント・パワーハラスメントの防止

相談受付の担当職員を設置して防止に努めた。相談実績は各0件。

(3) メンタルヘルス

メンタルヘルス、ストレスチェック制度の確立には至りませんでした。

(4) 次世代育成支援

- ① 各施設に主任を配置し旧運営会議を主任会議に改め週1回行うことで、現場管理者としての意識を高めると同時に将来に向け育成・教育を行いました。

1 4. 指導・監査・調査等

(1) 施設満足度調査を令和2年3月に実施しました。

「作業内容・作業支援」「個別支援計画の内容」「行事の内容」「健康管理の内容」「建物の広さ、清潔さ」「職員の態度」について回答を頂きました。

1 5. その他

(1) 広報活動

広報誌は季刊誌として年3回発行しました。

(2) 資金計画

- ・施設整備として、送迎サービス拡充のため、ワンボックス車を購入しました。
- ・職員給与には処遇改善助成金の一部を活用しました。
- ・社会福祉法人東京都共同募金会様より、第一和泉に掃除機、第二にノートパソコンを頂きました。

1 6. 決算

別紙